TIGER
タイガー魔法瓶

品　番

PVQ-H型

家庭用

VE電気まほうびん とく子さん®

コードレスタイプ

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では使用できません。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

とく子さんを上手に使って、省エネ生活はじめましょう



うれしい省エネ効果

低めの保温温度や まほうびん保温を選ぶ

→P.12

- 低めの保温温度を選ぶと、高めの保温温度に設定しているときよりも、電気代が節約できます。
- まほうびん保温を選ぶと、沸とう後ヒーターが自動的にOFFになり、まほうびん構造によって保温しますので、電気代が節約できます。

省エネコースで 省エネ湯わかしや 省エネ保温

→P.18



- 省エネコースを選んでお湯をわかすと、蒸気カットをする省エネ湯わかしになります。
- 省エネ保温は、しばらくポットを使わないと、自動的に保温設定温度より約5度低い温度で保温しますので、電気代が節約できます。

寝る前や外出前に 節電タイマーをセットする

→P.20



- 6時間、または、9時間でセットできます。
- セットすると自動的にヒーターがOFFになり、まほうびんで保温しますので電気代が節約できます。

便利な機能

カルキのにおいが気になるときは

カルキぬき沸とう

→P.10･12



湯わかしの時間を延長して、おいしいお湯がわかせます。

場所に合わせて使い分け

電動&エアー給湯

→P.14～17



通電時は、指1本でラクに給湯できます。(電動給湯)

電源が届かない場所でも、給湯できます。(エアー給湯)



もくじ

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。



◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

△ 注意	△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。
⃠ 禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。
● 指示	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

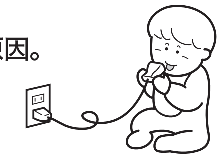
乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠警告

禁止

器具用プラグをなめさせない。

乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。

やけど・感電・けがをするおそれ。

必ず実施

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。

沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

接触禁止

蒸気孔に触ったり、顔などを近づけない。

やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

⚠注意

禁止

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。

倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。
また、火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。
修理技術者以外の人は、分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因。

禁止

交流100V以外では使わない。
(日本国内100V専用)

火災・感電の原因。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

禁止

電源コードは、破損したまま使わない。
また、電源コードを傷つけない。

(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
火災・感電の原因。

必ず実施

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因。

必ず実施

差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

禁止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

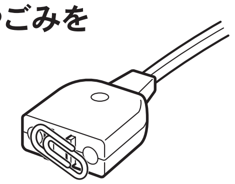
感電・ショート・発火の原因。

安全上のご注意

⚠警告

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

器具用プラグ（磁石式）の先端に、ピンなど金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。



満水目盛を超えて、水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、水が給水マークより少ない場合は、内容器の変色・故障のおそれ。

ふたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。
また、ふたの変形の原因。

水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。ふたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

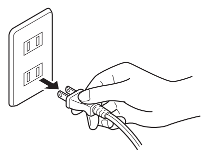
本体は、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
ふたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
（残り湯のすてかた→P.22）

⚠注意

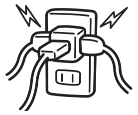
使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。



この製品専用の電源コード以外は使わない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。



水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因。

蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

ふたを開けたりはずすときに出る蒸気や露にふれない。
やけどの原因。

湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

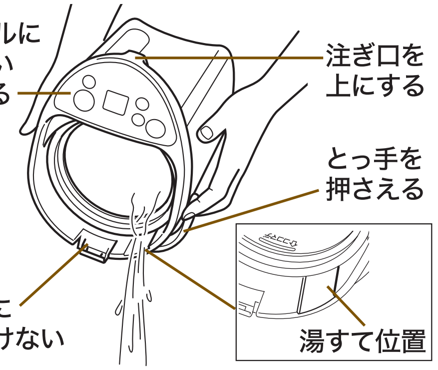
給湯中に本体を回さない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。
ふたが開いて、けがややけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からすてる。→P.22
別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。また、やけどのおそれ。



ふたパッキンが白く変色したら交換する。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電・故障の原因。

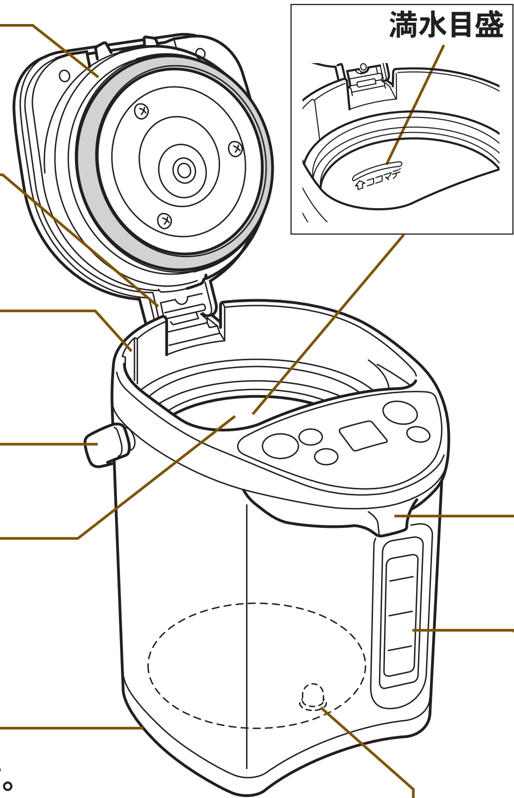
本体をさかさにして置かない。
故障の原因。

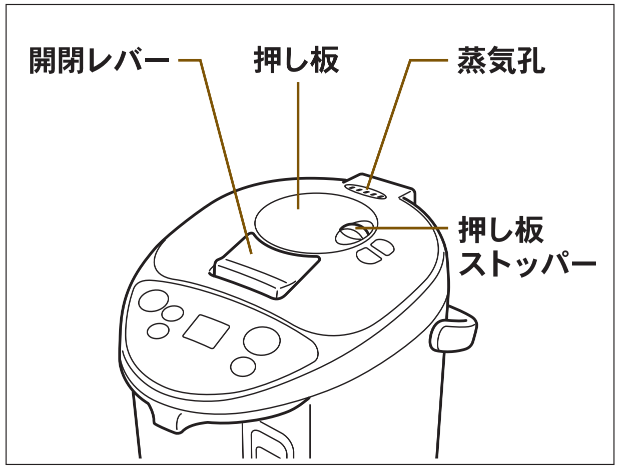
末永くご使用いただくためのご注意

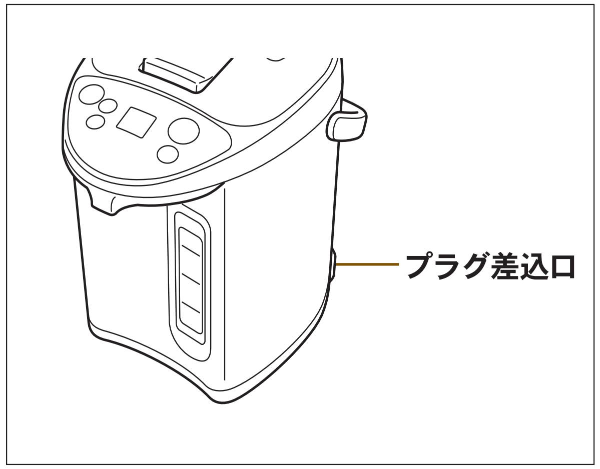
- **火気の近くでは使わない。**
  変形・故障の原因。
- **直射日光が長時間あたる場所では使わない。**
  本体が熱くなるなど、故障の原因。
- **カラだきをしない。**
  水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。
- **備長炭などの炭を入れて使わない。**
  故障、フッ素加工のはがれの原因。

各部のなまえ

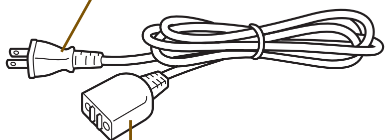
箱をあけたら、まず確認しましょう！





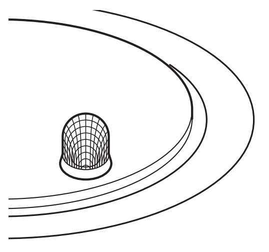


電源コード

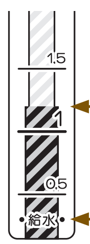


メッシュフィルター

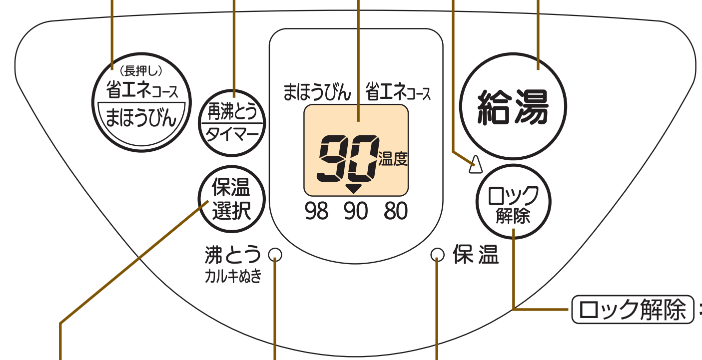
底の穴への異物混入を防ぎます。



水量表示計



操作パネル



※給湯キーの中央の凸部(◯)は、目の不自由な方に配慮したものです。



はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

本体内を洗浄するために、次の手順で、お湯をわかしてすてる。
使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

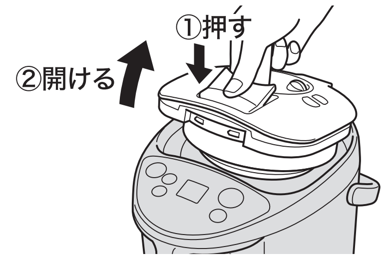
1. **満水目盛まで水を入れ、お湯をわかす。**→P.10
2. **お湯がわいたら、約半量を電動給湯してお湯をすてる。**→P.14
3. **プラグ・ふたをはずして、残り湯をすてる。**→P.22

お湯をわかす、保温を選ぶ、再沸とうさせる

コーヒーや紅茶、煎茶など、お茶の種類に合わせて保温が選べて便利。
カルキのにおいも減らすことができるのね。

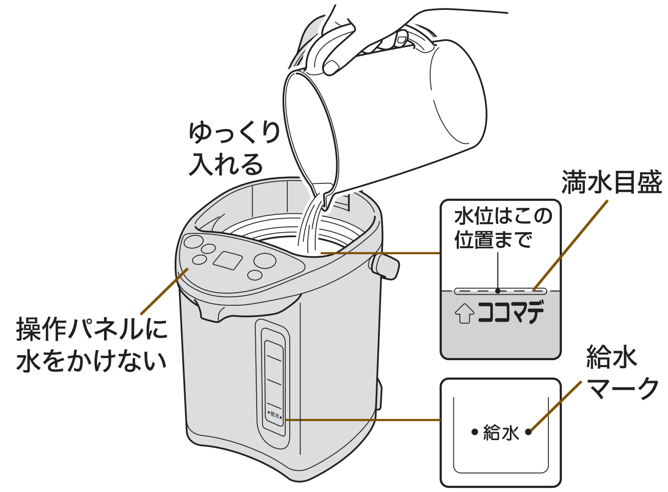


1 ふたを開ける。



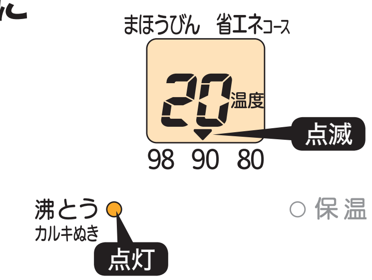
2 水を別の容器で入れる。

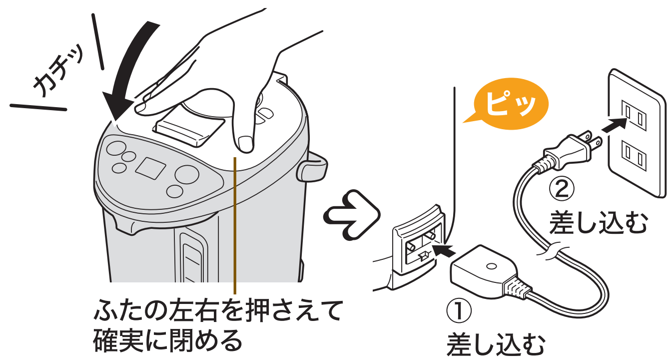
「満水目盛」以下、「給水マーク」以上に入れる。



3 ふたを閉め、プラグを確実に接続する。

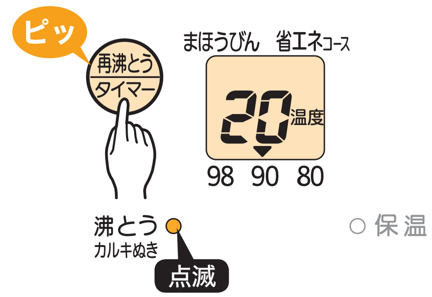
湯わかしがはじまる。





4 お湯のカルキ臭を減らしたいときは、再沸とう/タイマー を1回押す。

通常よりも湯わかし時間が長くなります。



ふたを開閉するときの音

「カラカラ」という音は、お湯の流出を防止する弁(せんバルブ)の音です。

水を入れて湯わかしする

約50℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしされない場合があります。
少しさめたお湯か水を入れるか、再沸とうさせる。→P.12

カラだき防止機能のはたらき

水が入っていなかったり、少量の水でわかしはじめると、「ピピピ…」と音がして、沸とうランプと保温ランプが交互に点滅してお知らせし、湯わかしが止まります。→P.29

湯わかし中の表示

現在の湯温



沸とうするまでの残時間



◆水量や水温によって、残時間が表示されはじめる時間が異なります。
◆お湯の温度は、5℃きざみに表示されます。(約98℃のときのみ「98」を表示)

ご注意

◆水を蛇口から直接入れたり、ぬれた場所に置いて底面をぬらさない。
◆「満水目盛」を超えて水を入れたり、「給水マーク」より少ない水で湯わかししない。

お湯をわかす、保温を選ぶ、再沸とうさせる



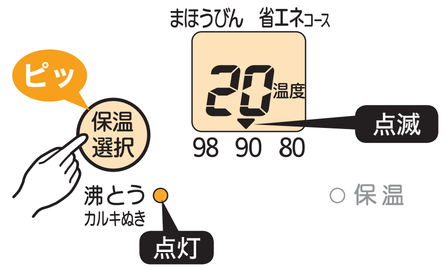
5

保温選択 または （長押し）省エネコース まほうびん を押して、保温を選ぶ。

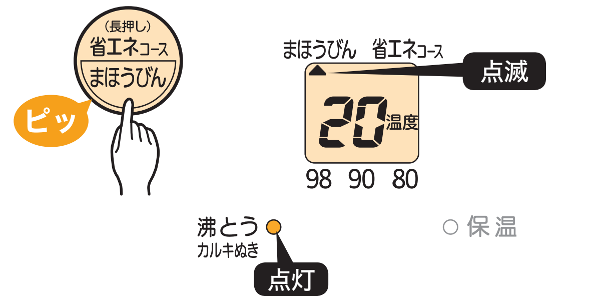
【98・90・80保温のとき】
保温選択 を押すごとに、保温が順に切り替わります。

→90→80→98→

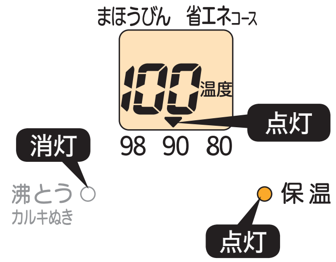
【まほうびん保温のとき】
省エネコース/まほうびん を押す。
もう一度押すと、保温選択温度に替わります。
（キーを長く押さない。省エネコースがセットされます。
→P.18・19）



まほうびん保温設定時の表示



沸とうしたら、「ピー」と5回鳴る。



自動的に保温。

【保温中に保温を切り替えるとき】
保温選択 または 省エネコース/まほうびん を押して選ぶ。
→上記5

選択した保温温度になると

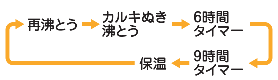


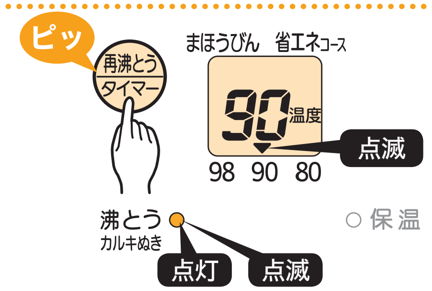
6

保温中に再沸とうさせるときは、再沸とう タイマー を1回押す。

給水マーク以上のお湯が入っているか、確認してから押す。

【お湯のカルキ臭を減らしたいとき】
2回押す。
再沸とう/タイマー を押すごとに、機能が切り替わります。





再沸とうのとき　カルキぬきのとき

保温は4種類から選べる

- ◆4種類の保温が選べます。（80・90・98保温の3通りとまほうびん保温）
- ◆まほうびん保温は、沸とう後、ヒーターが自動的にOFFになります。
- ◆湯わかし中でも保温中でも、保温が変更できます。

使用中にプラグがはずれたとき

再度プラグを接続すると90保温になります。

沸とう時間・選んだ保温温度になるまでの時間の目安

		2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
水から沸とうするまで		約19分	約25分	約31分
沸とうしてから	90保温になるまで	約2時間50分	約3時間	約3時間20分
	80保温になるまで	約5時間	約5時間50分	約6時間30分

※水量：満水、水温・室温：23℃のときの参考値。
※98保温になるまでの時間の目安は、水から沸とうするまでの時間とほぼ同じです。

沸とう後の湯温の目安（まほうびん保温時）

時間の経過とともに、湯温が下がっていきます。湯量が少ないと、さめやすくなります。

	2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
2時間後	約87℃	約91℃	約94℃

※水量：満水、室温：23℃のときの参考値。
※温度は5℃きざみで表示されるので、表示と実際の湯温は異なることがあります。

満水時に再沸とうするまでの時間の目安

	2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
98・90保温	約4～7分	約4～8分	約4～9分
80保温	約7～9分	約8～10分	約9～12分

※水をつぎ足したり、プラグを接続し直したときは、さらに長くなります。
※まほうびん保温のときは、沸とうするまでの時間が変わります。

ご注意

再沸とう/タイマー は、節電タイマーと兼用のキーになっているので、表示部で確認して設定する。

給湯キーを押して お湯を注ぐ

― 電動給湯

指1本でらくらく給湯！
まろやかなお湯で、お茶やコーヒーの味と香りが楽しめるのね。



1

ロック解除 を1回押す。

ロックが解除されます。

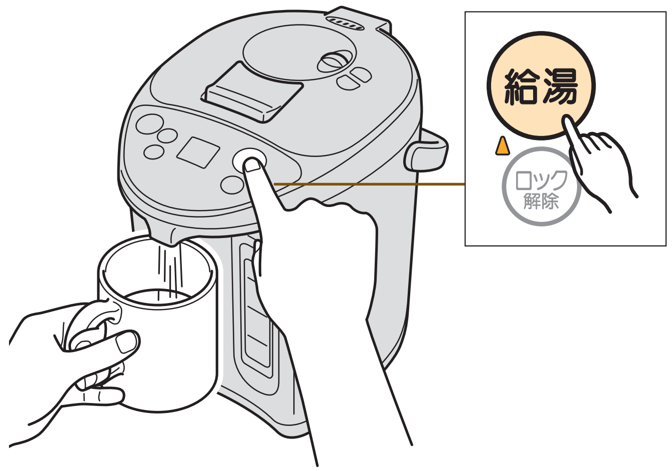


2

容器を注ぎ口に合わせ、

給湯 を押して注ぐ。

◆押している間、お湯が出ます。
◆給湯 から指をはなし、注ぎ口からお湯が止まるのを確認してから容器をはなす。



3

ロック解除 を1回押す。

ロックされます。



自動ロックについて

給湯後、約20秒間 給湯 を押さなかった場合、自動的にロックされます。
（ロック解除ランプが消灯。）

お湯が出にくいとき

◆沸とう直後は、発生した泡がポンプに入ってお湯が出にくくなることがあります。
蒸気に注意して、1度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。
◆内容器やメッシュフィルター、本体内部のポンプが汚れていると、お湯が出にくくなることがあります。
クエン酸洗浄する。→P.26

お湯が少なくなったら必ず給水する

◆給水マークまで減る前に、必ず給水し、ふたを閉める。
（蒸気に注意して、水を入れる。）→P.10
◆まほうびん保温中（プラグ接続状態）は、給水しても湯わかししません。

ご注意

湯量が給水マークより少ないときは、給湯しない。お湯が飛び散るおそれ。

押し板を押して お湯を注ぐ

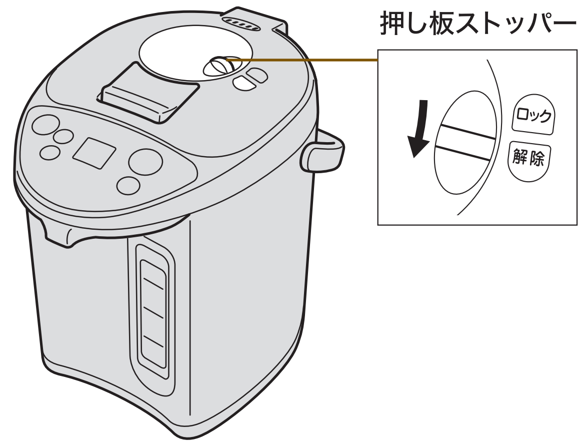
—エアー給湯

プラグを抜いてもお湯が注げるから、電源が届かない庭やバルコニーでもあったかいお茶が飲めるのね。



1 押し板ストッパーを「解除」位置にする。

ロックが解除されます。



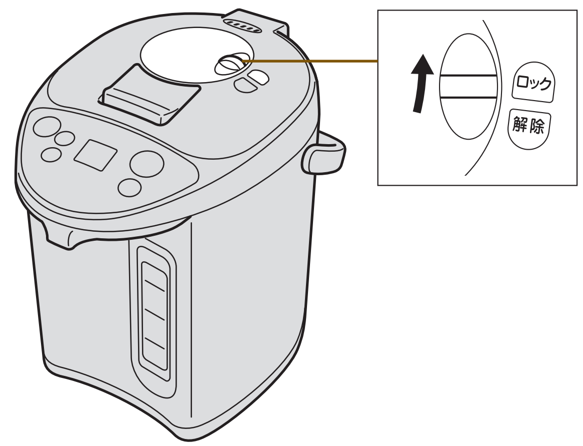
2 容器を注ぎ口に合わせ、押し板をゆっくり押して注ぐ。

◆お湯の出具合は、電動給湯より多少、少なくなります。
◆押し板から指をはなし、注ぎ口からお湯が止まるのを確認してから容器をはなす。



3 押し板ストッパーを「ロック」位置にする。

ロックされます。



コードレス給湯できる

プラグを抜いてもお湯が注げます。

お湯がさめたり、減ってきたとき

エアー給湯したときに出る湯量が減ってきます。

押し板はゆっくり押す

勢いよく押すと、お湯が飛び散ったり、出ないことがあります。

本体が回らないように給湯する

給湯中に本体が回ると、お湯が飛び散ります。

お湯が少なくなったら必ず給水する

◆給水マークまで減る前に、必ず給水し、ふたを閉める。
（蒸気に注意して、水を入れる。）→P.10
◆まほうびん保温中（プラグ接続状態）は、給水しても湯わかししません。

ご注意

◆湯量が給水マークより少ないときは、給湯しない。お湯が飛び散るおそれ。
◆電動給湯とエアー給湯を同時に行わない。やけど・故障の原因。

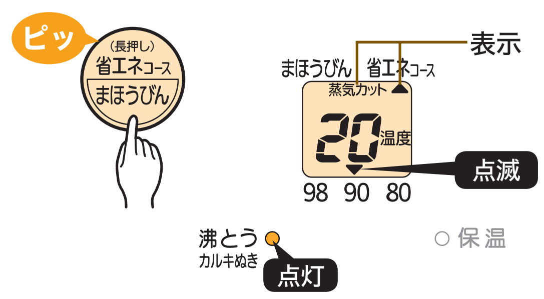
省エネコースにセットして、省エネ湯わかし、省エネ保温する

蒸気の量をおさえた省エネ湯わかしと、使わないときに設定温度より約5度下げる省エネ保温で、電気代が節約できるのね。



1 （長押し）省エネコース／まほうびん を長押し（約1秒）して、省エネコースを選ぶ。

キーを長押し（約1秒）しないと、まほうびん保温になります。→P.12・13



2 保温選択 または （長押し）省エネコース／まほうびん を押して、保温を選ぶ。

【98・90・80保温のとき】

保温選択 を押すごとに、保温が順に切り替わります。

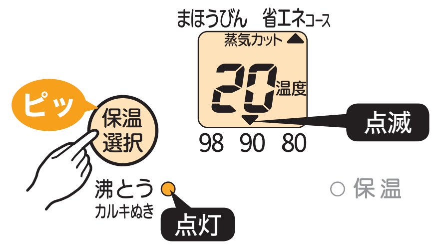
90 → 80 → 98

【まほうびん保温のとき】

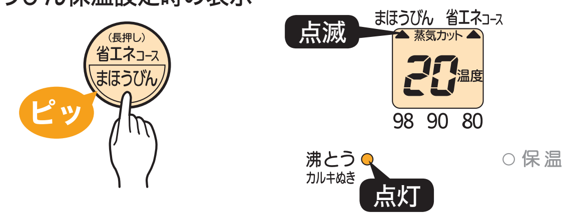
省エネコース/まほうびん を押す。

もう一度押すと、保温選択温度に替わります。（まほうびん保温は、湯わかし後、ヒーターが自動的にOFFになります。）

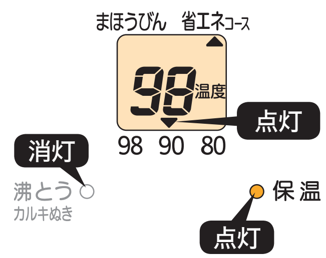
（キーを長く押さない。省エネコースが解除されます。）



まほうびん保温設定時の表示



湯わかしが終了したら、「ピー」と5回鳴る。



自動的に保温。

【保温中に保温を切り替えるとき】

保温選択 または 省エネコース/まほうびん を押して選ぶ。

→上記2

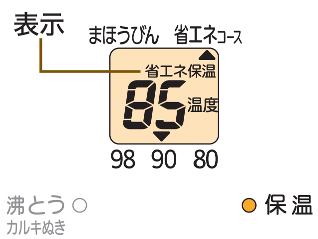
選択した保温温度になると



2時間以上使わないときは自動的に省エネ保温。（設定温度より約5℃下げて保温）

【まほうびん保温のとき】

ヒーターがONにならないので、お湯が冷めていくだけです。



省エネコースのしくみ

- 省エネコースを選ぶと、省エネ湯わかしと省エネ保温を行います。
- 省エネ湯わかしは、沸とうする前にヒーターを切り、蒸気の量をおさえる蒸気カットを行います。
  湯わかし終了時の湯温は約98℃です。（室温・水量・気圧により蒸気カットにならない場合があります。）
- 省エネ保温は、2時間以上キー操作しなかったときに、設定温度より約5℃下げて保温します。
  （98保温のときの省エネ保温は、95保温になります。）

省エネコースで蒸気カットさせない場合（沸とうさせる）

「カルキぬき」で湯わかしする。→P.10

省エネ保温中にキー操作をすると発生する音

「ゴー」という音は、湯温を設定温度に戻すために、自動的に湯わかしをする音です。→P.27

省エネコースを解除するときは

省エネコース/まほうびん を長押し（約1秒）する。（湯温が低いときは、自動的に湯わかしをはじめます。）

省エネ保温中の湯温をもとの設定温度に戻すときは

保温選択 または ロック解除 を1度押す。（約1分で、もとの設定温度に戻ります。）

ご注意

省エネ湯わかしのときでも蒸気孔は高温になるため、触ったり、顔などを近づけない。

寝る前や外出前に節電タイマーをセットする

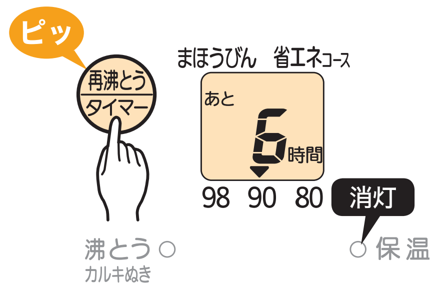
節電タイマーをセットすると、ポットが自動的にヒーターをOFF！電気代が節約できてうれしいわ。



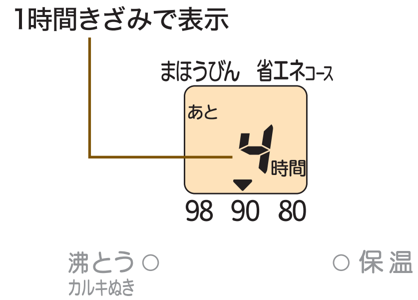
再沸とう/タイマー を押して、節電時間を表示させる。

押すごとに機能が切り替わります。
表示部で確認しながら、「あと6時間」、または、「あと9時間」に合わせる。
(節電タイマーがセットされます。)

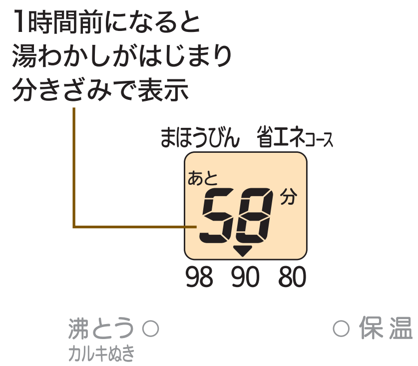
再沸とう → カルキぬき沸とう → 6時間タイマー → 9時間タイマー → 保温 → 再沸とう



終了までの時間を1時間きざみで表示。

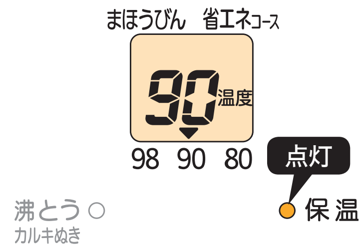


終了の1時間前になると、湯わかしがはじまり、59 ～ 1分まで分きざみで表示。



湯わかしが終了すると、自動的に保温。

設定されている保温で、保温します。
(ピーピー…という音は鳴りません。)



節電タイマーのしくみ

◆6時間、または、9時間でセットできます。
◆セットすると、ヒーターが自動的にOFFになり、まほうびんで保温します。

湯わかし中でも保温中でもセットできる

湯わかし中・保温中のどちらでもセットできて便利です。

まほうびん保温設定時はセットしない

ヒーターがONにならないので、お湯が冷めていくだけです。

セットすると使えない操作・機能

◆電動給湯

節電タイマーを解除してお湯をわかすときは

再沸とう/タイマー を押して、沸とうランプを点灯させる。(湯わかしをはじめます。)

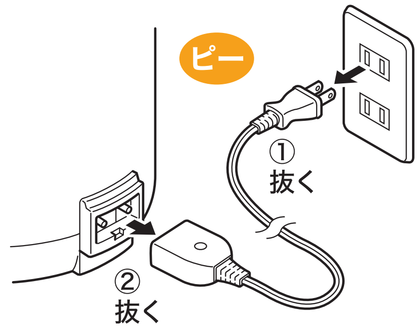


使わないときは
お湯をすてる

いつもおいしいお湯がわかせるように、使わないときは、
プラグとふたをはずして、残り湯をすてるといいのね。

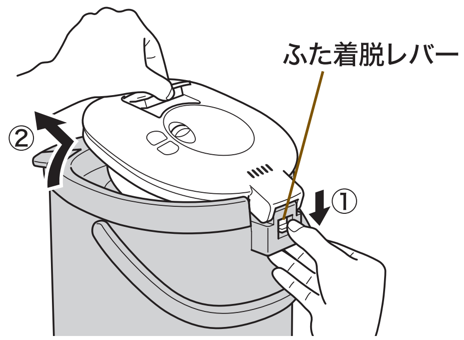


1 プラグをはずす。



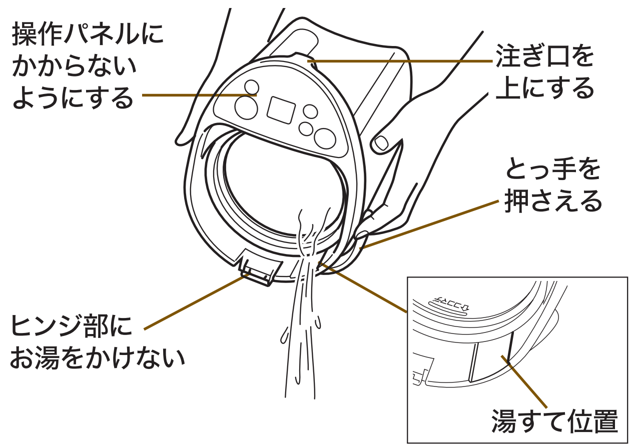
2 ふたをはずす。

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたを注ぎ口側に引くように開けてはずす。



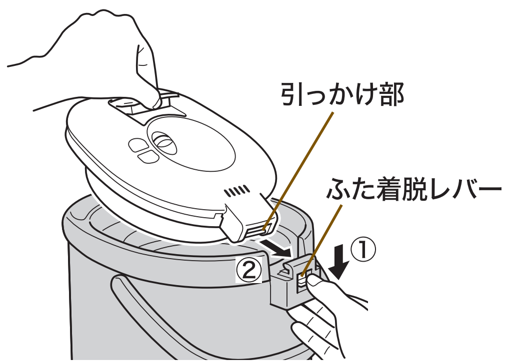
3 残り湯をすてる。

お湯が飛び散らないように、できるだけお湯をすてる場所にポットを近づけて、ゆっくりとすてる。



4 ふたをつける。

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたの引っかけ部を差し込む。



内容器にお湯を残さない

内容器が変色したり、においの原因になるので、残り湯はすてる。

必ず湯すて位置からすてる

別の位置からすてると、故障の原因。

使用後はお手入れする

内容器・メッシュフィルターは、こまめにお手入れする。→P.24

ご注意

- ◆ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
- ◆メッシュフィルターの取りつけが不充分な場合、お湯をすてたときに抜け落ちることがあるので注意する。
- ◆お湯をすてた後は、注ぎ口からしずくが落ちることがあるので注意する。

お手入れする

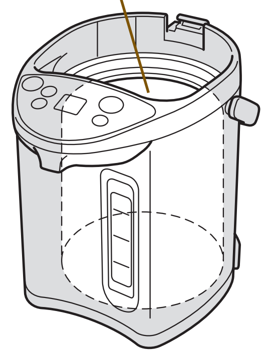
こまめにお手入れして、
清潔・長持ち！



◆プラグをはずし、冷えてからお手入れする。　◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

こまめにお手入れする箇所・部品

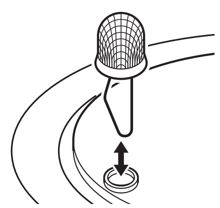
内容器



1 メッシュフィルターをはずす。→下記

2 内容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、スポンジでふき取った後、すすぐ。（外側はぬらさない。）

メッシュフィルター



1 水またはぬるま湯で、やわらかい歯ブラシなどを使って洗う。（目づまりすると、お湯が出にくくなります。）

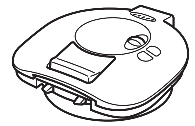
2 内容器に必ず取りつける。

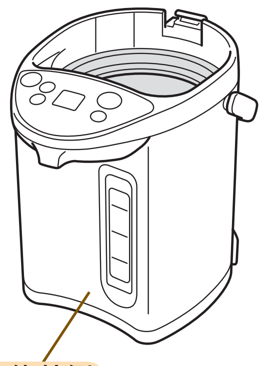
ご注意

◆洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
◆食器洗浄機や食器乾燥器などは使わない。
◆カラだきによる内容器の変色は取れません。

汚れるたびに お手入れする箇所

ふた

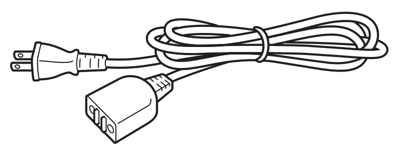




本体外側

よくしぼったフキンでふき取る。

電源コード



乾いた布でふく。

ご注意

水につけたり、水をかけたりしない。

ミネラル成分について

水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が、内容器に付着して下記のようになることがありますが、有害ではありません。
汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.26

・内容器に、サビのような赤いはん点ができた。
・内容器が乳白色・黒色・虹色などに変色した。
・お湯に白い浮遊物が浮く。

ご注意

◆内容器・メッシュフィルターは、こまめにお手入れし、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.26
ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯わかし中の音が大きくなる原因。
◆ミネラルウォーターや、アルカリイオン水（ミネラル成分を多く含む水）を湯わかししたときは、よりこまめにお手入れする。
付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぎ、故障の原因。

長期間使わないとき

1 左記の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。

2 各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）

3 虫やほこりなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管する。

お手入れする



お湯が出ないときは、
ポンプのクエン酸洗浄をする
（半年に1回の目安）

1 メッシュフィルターをはずす。→P.24
2 クエン酸　約30g（大さじ2 ～ 3杯）を、コップ1杯のお湯(約200mL)で溶かし、内容器の底の穴に入れてふたを閉め、そのまま約2時間放置する。
3 内容器の1/3まで水を入れ、ふたを閉めてお湯をわかす。（90保温を選ぶ）→P.10
4 90保温の状態で、2 ～ 3時間放置する。
5 電動給湯してお湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出し、すてる。
6 プラグをはずし、冷めてから、内容器をスポンジで水洗いする。
7 クエン酸の残り水を取るために、水だけで通常どおりにわかし、約半量を電動給湯してからお湯をすてる。
→P.10・14・22
8 冷めてから、メッシュフィルターを取りつける。→P.24

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→P.31」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）
品番	PKS-0120

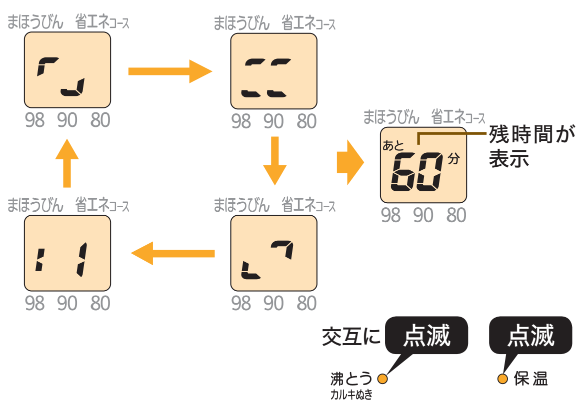
※洗浄用クエン酸は、食品添加物につき、食品衛生上無害です。

ミネラル成分が付着してきたら
内容器のクエン酸洗浄をする
（2 ～ 3カ月に1回の目安）

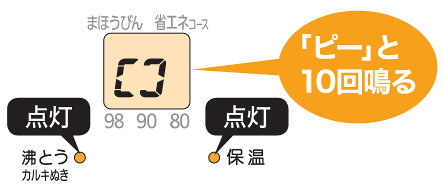
1 メッシュフィルターが内容器についているか確認する。→P.8
2 クエン酸 約30g（大さじ2 ～ 3杯)を内容器に入れる。
3 満水目盛まで水を入れてまぜ、ふたを閉める。（お湯は入れない。）→P.10
4 プラグを接続し、再沸とう/タイマーと保温選択を同時に約3秒間押し続ける。
※洗浄中は、他の操作や機能は使えません。



洗浄中〈洗浄時間の目安：約1時間30分*〉
＊水温により異なる。



洗浄終了



5 プラグ・ふたをはずしてお湯をすてる。→P.22
6 汚れが残っているときは、スポンジでこすり落とす。（落ちにくいときは、再度クエン酸と水を入れて同じ操作をする。）
7 クエン酸の残り水を取るために、水だけで通常どおりにわかし、約半量を電動給湯してから残りのお湯をすてる。
→P.10・14・22

ご注意

◆洗浄中はふたを開けない。また沸とうするので蒸気に注意する。
◆クエン酸洗浄を途中で解除するときは、プラグをはずす。通常どおりお湯をわかすときは、必ずお湯(クエン酸の液)をすててから使う。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
お湯をわかすとき	お湯がわかない。（すべてのランプがつかない。表示がすべて消えた。）	電源コードがはずれていませんか。	プラグを接続する。	10
	水を入れても、湯わかしがはじまらない。（沸とうランプに切り替わらない。）	約50℃以上のお湯を入れていませんか。約50℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしされない場合があります。	少しさめたお湯か水を入れる。または、再沸とう/タイマーを押して沸とうさせる。	10・12
		「まほうびん保温」を選んでいませんか。まほうびん保温中は、水を入れても自動的に湯わかしをしません。	再沸とう/タイマーを押して沸とうさせる。	12・15・17
	給湯していないのに、お湯が勝手に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以内にする。	10
	「ゴー」という音がする。	「ゴー」という音は、湯わかし中に発生する泡がはじける音です。		
		省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中にキー操作をすると、設定温度に戻すために自動的に湯わかしをします。そのときに発生する泡の音です。		19
	「ゴー」という音がいつもより大きい。	内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。	クエン酸洗浄をする。	26
	沸とうしない。（蒸気が出ない。）	省エネコースを選んでいませんか。蒸気カットする省エネ湯わかしをしているため、約98℃で湯わかしを終了します。	「カルキぬき」でお湯をわかす。	10・12
		再沸とうにしていませんか。再沸とうは一度沸とうさせたお湯を湯わかしするため、蒸気をおさえた設定になっています。		
においがするとき	お湯がにおう。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	「カルキぬき」でお湯をわかす。	10・12
		省エネコースを選んでいませんか。蒸気カットする省エネ湯わかしをしているため、約98℃で湯わかしを終了します。		
		使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		
		樹脂製のお盆、ビニールシートなどの敷物の上で使っていませんか。お湯に敷物のにおいが移ることがあります。		
保温中	本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。		

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
本体の不具合	内容器が汚れている。(お湯に白い浮遊物が浮く。)	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	クエン酸洗浄をする。	26
給湯するとき	お湯がぬるい。	省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中は設定温度より約5℃下げて保温します。	[保温選択]または[ロック解除]を押すと、約1分でもとの設定温度に戻ります。	18
		「まほうびん保温」を選んでいませんか。まほうびん保温中は、時間の経過とともに湯温が下がっていきます。	他の保温を選ぶ。または、[再沸とう/タイマー]を押して沸とうさせる。	12
		湯量が少ない状態で、「まほうびん保温」をすると、さめやすくなります。		13
		1杯目のお湯は、水量表示計の水量管の中にたまっているお湯が給湯されるため、ぬるくなることがあります。		
	電動給湯時に、お湯が出ない、出にくい。	沸とう直後ではありませんか。	蒸気に注意して、1度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。	15
		本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにして、給湯する。	
		プラグがはずれていませんか。	プラグを接続する。	10
		ロックされていませんか。(ロック解除ランプが消灯)	[ロック解除]を押してから、[給湯]を押す。	14
		内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れているとお湯が出なくなることがあります。	クエン酸洗浄をする。	26
	エアー給湯時に、お湯が出ない、出にくい。	本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにして、給湯する。	
		ふたパッキンがはずれていませんか。	ふたパッキンを正しくつけ直す。	30
		ふたパッキンが傷んでいませんか。	新しいふたパッキンと交換(有償)する。	30
		お湯がさめたり、量が少なくなると、エアー給湯したときに出る量が減ってきます。		17

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
ランプや表示、キー操作、音の不具合	ランプや表示がすべて消えた。	電源コードがはずれていませんか。	プラグを接続する。	10
	蒸気が出終わっても、お知らせ音(「ピー」と5回)が鳴らない。	沸とう直後に給湯すると、発生した泡がポンプに入ってお湯が出にくくなったり、お湯が飛び散ることがあります。これを防ぐために、蒸気が出終わっても約3分間は音が鳴りません。		
	表示部がくもる。	水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置きませんでしたか。	水をすて、プラグを接続せずにくもりがなくなるまで放置する。	
		本体をさかさにして置きませんでしたか。		
		給水するときに、操作パネルに水をかけませんでしたか。		
	「ピピピ…」と音がして、沸とうランプと保温ランプが交互に点滅し、下図のように表示される。	カラ、または、少ない水量で湯わかしをしていませんか。	プラグを抜き、水を給水マーク以上まで入れてふたを閉め、しばらくしてからプラグを接続する。	10
		お湯を使いきったまま長時間放置したり、ふたを開けたままで放置していませんか。	プラグを抜き、水を給水マーク以上まで入れてふたを閉め、しばらくしてからプラグを接続する。	10
		水をつぎたしたときに、勢いよく入れませんでしたか。	プラグを抜き、しばらくしてからプラグを接続する。	10
	「ピピピ…」と音がして、沸とうランプと保温ランプが交互に点滅し、下図のように表示される。	給水やお手入れをするときに、本体内部に水が入って故障している場合があります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。		

部品のお買い求めと交換について

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めください。

◆ふたパッキン（消耗部品）

1年を目安に確認し、下記のようになってきたら交換する。
（倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。）
・白く変色した。
・汚れや破損がひどくなった。
・ふたのすき間から蒸気がもれ出した。

部品番号	PVP1012

◆樹脂部品（傷んできたとき）

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。上記までご相談ください。

◆メッシュフィルター（消耗部品）

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても、汚れが取れないときは交換する。
メッシュフィルターのはずしかた・つけかた
→P.24

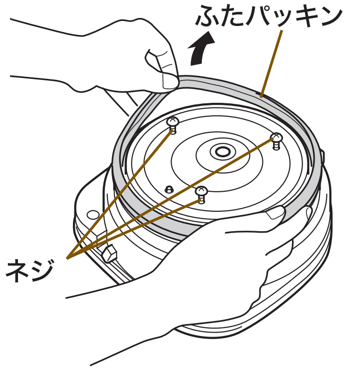
部品番号	PVH1045

ふたパッキンの交換のしかた

はずしかた

1 ネジ（3本）をゆるめる。

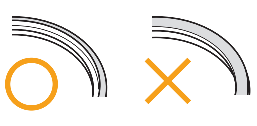
2 ふたパッキンをはずす。



つけかた

1 新しいふたパッキンを、せん内ふた外周にきっちりとはめ込む。

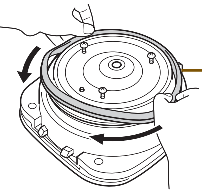
ふたパッキンの向き



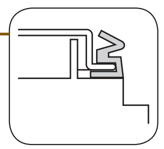
ふたパッキン
①溝に引っかける



②ふたパッキンを指でなぞるように溝にはめ込む



断面図



確実にはまっていることを確認する

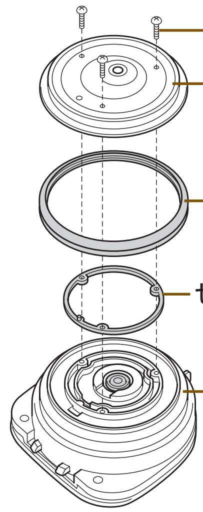


2 ネジ（3本）を確実に締めつける。

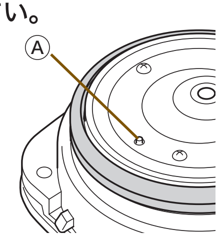
ご注意

◆せん内ふたなどの部品を、ふたからはずさない。蒸気もれやお湯が出ない原因。
はずれてしまったときは、下図のように正しく取りつける。

必ずこのイラストの通りの方向でセットする。
（間違うとお湯がふきこぼれ、やけどをするおそれ）



◆ふたパッキンを交換してもお湯が出ないときは、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合があります。（図のⒶの突起部が外観から見て傷んできたときが、交換の目安。）
上記にてお買い求めください。



仕様

サイズ		2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
定格容量		2.2L	3.0L	4.0L
電源		交流100V　50-60Hz		
湯わかし時の消費電力		905W	905W	905W
年間消費電力量*1		227kWh/年	262kWh/年	305kWh/年
1日当りの消費電力量*1		0.62kWh/日	0.72kWh/日	0.84kWh/日
外形寸法*2（とっ手を倒した状態）	幅	23.6cm	23.6cm	23.6cm
	奥行	30.1cm	30.1cm	30.1cm
	高さ	26.8cm	30.7cm	35.4cm
質量*2(電源コードを含む)		2.9kg	3.2kg	3.5kg
温度過昇防止装置(温度ヒューズ)		152℃		
コードの長さ*2		1.2m		
電動ポンプの消費電力*2		1.5W		

＊1 JEMA（日本電機工業会）自主基準による測定（室温23℃、湯わかし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温90℃で23時間/1日、365日/年間、その他水量等の試験条件：JEMA自主基準HD-112に基づく）
＊2 おおよその数値です。
※特定地域（高地・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら→P. 27〜29」をご覧になり、お調べください。
それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い
保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗部品は除きます。）
保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき
保証期間内 ・・・ おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証期間を過ぎているとき ・・・ まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけくわしく）

4 電気ポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは
修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。
技術料 ・・・ 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換・調整・修理後の点検など）の料金です。
部品代 ・・・ 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（下記）までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-011101
市内通話料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ
TEL(06)6906-2121

受付時間 AM9:00〜PM5:00 月曜日〜金曜日（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。
ホームページアドレス http://www.tiger.jp/